

2020年4月13日

各位

デンカ株式会社

ポリスチレン樹脂のケミカルリサイクルの事業化に着手

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：山本 学）の持分法適用関連会社である東洋スチレン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：松下 三四郎）は、使用済みPS（ポリスチレン）のケミカルリサイクル事業化に向け、プラスチックリサイクルのグローバル企業であるアジリックス社（本社：米国オレゴン州ポートランド、CEO：ジョー・ヴィランコート）と日本国内市場における技術ライセンス契約を締結しました。当社千葉工場（千葉県市原市）内に、使用済みPSを熱分解しその原料であるSM（スチレンモノマー）を再生する実証設備（年間処理能力：約3千トン）建設の具体的検討に着手し、2021年度末の操業開始を目指します。

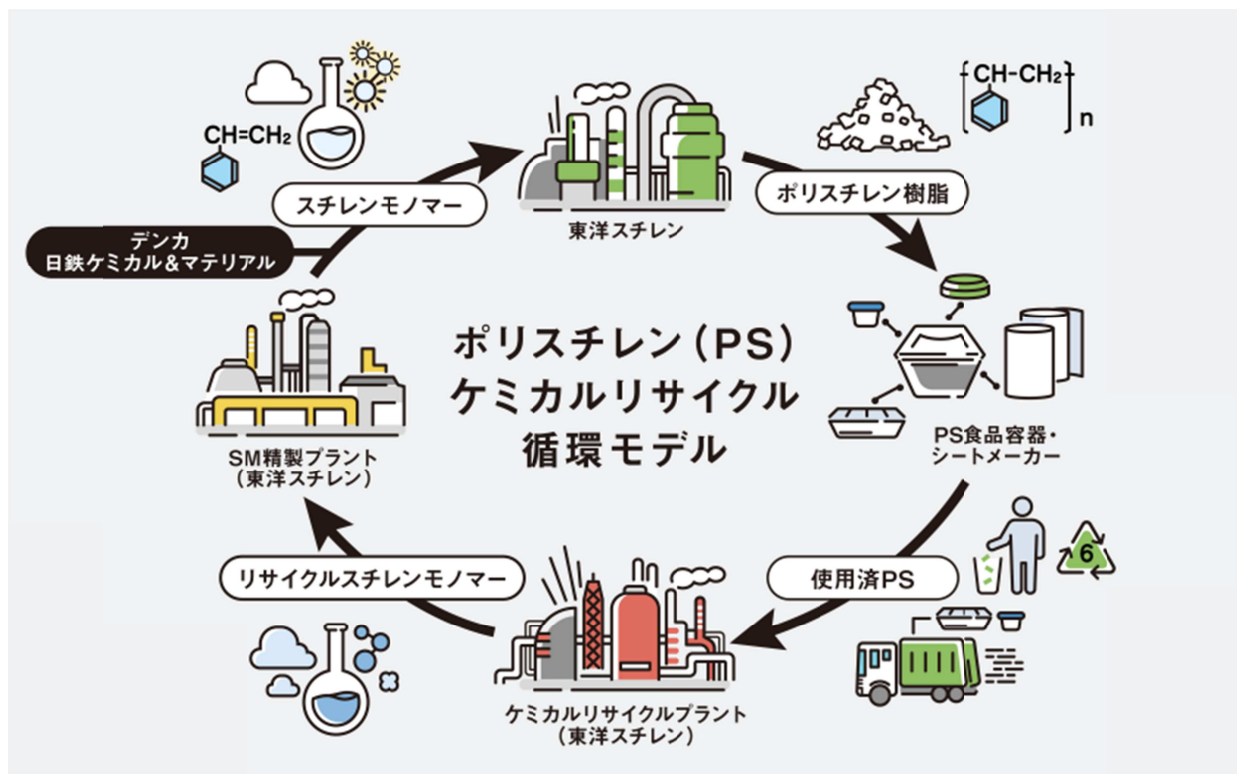
プラスチックは社会生活に欠かせない素材である一方、使用後の海洋流出により生態系への悪影響や、石油由来原料の使用による温室効果ガス増加等の問題が顕在化し、国際的な重要課題となっています。デンカグループにおいても、地球環境保全に積極的に取り組んでおり、プラスチックを扱う化学メーカーの責務として、環境負荷抑制への厳格な管理とともに、省資源・省エネルギーへの弛まぬ技術革新に努めております。従来のプラスチックリサイクルの手法は使用済みのプラスチックを粉砕し、再度溶融した上で製品を成形するマテリアルリサイクルというもので、特に食品関連容器への利用には一部で制約がありました。今回の方式は、ポリマーからモノマーに熱分解し易いというスチレン系樹脂の特徴を生かしたケミカルリサイクルという手法であり、リサイクルスチレンモノマーから製造されたポリスチレンの用途には制限がない画期的な手法です。またCO₂の発生量も通常の生産方法と比較して半減させることが可能です。

当社は東洋スチレン社のケミカルリサイクル事業を全面的にバックアップするとともに、政府機関、関係団体との連携にも協力してまいります。

デンカグループは、持続可能な社会の実現のため今後も新たな製品・技術の創造を通じて、地球環境の保全・保護に積極的に取り組んでまいります。

以上

【ご参考：ポリスチレン ケミカルリサイクル循環モデル図】



【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511